

令和2年度 認知症初期集中支援チーム 活動報告

(R2年6月30日現在)

	No.	性別	年齢	初回相談者	相談経路	支援開始	支援終了	診断名	対応結果
平成31年度事例（令和2年度継続支援実施事例）	1	女	67	民生委員	地域包括支援センター	R1年7月	R2年6月	－	病識の欠如、受診拒否、家族の疾患への理解の不足等、複合的な課題を抱える家庭でもあり、家族にアプローチを試みたが、家族・本人ともに現在、支援が必要と感じていないため、担当地域包括支援センターに引き継いだ。
	2	女	67	家族	地域包括支援センター	R1年11月	R2年6月	アルツハイマー型認知症	介護保険サービスの利用は拒否的であったが、「実兄の通所介護に付き添う」という理由で了承され、ケアマネジャーに引き継ぎ、介護保険サービスの利用を開始した。
	3	女	82	家族	地域包括支援センター	R1年11月	R2年6月	－	もの盗られ妄想や金銭トラブル等あったが、認知症の診断には至らなかった。身体機能の衰えから、介護保険サービスを利用したいと本人より希望あり、ケアマネジャーに引き継いだ。
	4	男	91	家族	地域包括支援センター	R1年12月	R2年6月	認知症	支援の介入拒否であったが、家族の協力を得て、医療受診につながり、介護保険の認定を取得した。今後は、担当地域包括支援センターに引き継ぎ、本人の状況確認をしながら、介護サービスの利用等を調整予定。
	5	女	80	近隣住民	地域包括支援センター	R2年2月	R2年6月	認知症	症状進行により金銭管理等、日常生活に支障をきたしていたが、家族と連携し、受診及び介護保険サービスの利用を調整した。その後、ケアマネジャーへと引き継いだ。
	6	女	87	医療機関	地域包括支援センター	R2年2月	R2年4月	－	道に迷う、自宅が不衛生である等あったが、支援については拒否されていた。今後の方針等検討していたが、自宅にて死亡された。
令和2年度事例	7	男	83	家族	地域包括支援センター	R2年6月		－	服薬・スケジュール管理等ができなくなり、日常生活に支障をきたしている。家族と連携し、支援実施中。
	8	女	82	民生委員	地域包括支援センター	R2年6月		－	もの盗られ妄想や物を頻繁に紛失する等、日常生活に支障をきたしている。支援実施中。

～認知症になっても、安心して生活できるように～

「伊丹市認知症 初期集中支援チーム」

(通称：オレンジチーム) が支援します！

○認知症初期集中支援チーム（オレンジチーム）とは？

認知症またはその疑いのある方の自宅にチーム員が訪問し、受診推奨、介護サービスの必要性を検討し、家族のサポートや医療・介護、地域の関係機関等につなげる初期支援を包括的・集中的に（おおよそ6か月）行います。

○チーム員は？

認知症サポート医、医療・福祉の専門職（看護師、社会福祉士）で構成しています。

○対象となる方は？

40歳以上の伊丹市民で、自宅で生活されており、認知症の症状などでお困りの方です。例えば・・・

認知症の診断を受けたいが、本人が受診を拒否している。

介護サービスを拒否している。



認知症の治療を中断している。

認知症の症状が強く、対応に困っている。

まずは、お近くの地域包括支援センターにご相談下さい！

地域包括支援センター名	所在地	電話番号	担当小学校区
①伊丹・摂陽地域包括支援センター	行基町1丁目98	775-2776	伊丹小・摂陽小
②稲野・鴻池地域包括支援センター	昆陽池1丁目105	780-1733	稲野小・鴻池小
③天神川・荻野地域包括支援センター	荒牧5丁目16-27	777-7002	天神川小・荻野小
④笹原・鈴原地域包括支援センター	南野2丁目3-25	773-6223	笹原小・鈴原小
⑤花里・昆陽里地域包括支援センター	寺本6丁目150	767-9939	花里小・昆陽里小
⑥桜台・池尻地域包括支援センター	中野西1丁目18	744-1475	桜台小・池尻小
⑦神津・有岡地域包括支援センター	森本1丁目8-19	777-8055	神津小・有岡小
⑧緑丘・瑞穂地域包括支援センター	北園1丁目19-1	777-3652	緑丘小・瑞穂小
⑨南地域包括支援センター	中央4丁目5-6	771-8566	南小
★伊丹市地域包括支援センター	広畑3丁目1	787-6797	伊丹市全域

【事業全般のお問い合わせ】 伊丹市介護保険課 072-784-8037（直通）